

5年1組学級通信

為し合わせ

一人はみんなのために
みんなは一人のために

No. 66

令和3年7月12日（月）
沼田市立沼田東小学校

尾瀬、行ってきました！

学びの多い、一日となりました。



心配していた雨は、体操の時と鳩待峠から尾瀬に向かって20分くらいの間、さわさわと降っていましたが、やんでからは一度も雨に降られることなく、暑すぎることもなく、大変良いコンディションの尾瀬を満喫できました。

コロナ禍のせいで、入山者も少なく、私はもう20回以上尾瀬に行っていますが、あんなに人が少なく、ゆったりと回れたのは、今回が初めてでした。ですから、ガイドさんの説明もゆっくりと聞くことができ、子どもたちにとっては、ラッキーな一日だったのではないかなと思います。

この日の宿題は、日記でしたので、多くの児童が尾瀬のことを書いてきました。

その中から何人か紹介していきたいと思います。本紙での過去の日記紹介数なども考慮して選んでいます。ご了承ください。せっかく何日か分のスペースに、たくさん書い

たのに、紹介できない子もいます。ごめんなさい。m(_)m

<S.Yさん 7月6日の日記>

昔、尾瀬の広い湿地に、ダムを作るという計画が立っていたそうです。地域の人々は、「えっ、あのきれいな自然がなくなるの?」とびっくりして、反対したそうです。きれいで、貴重な大切な自然を守るために、自然の大切さについて、他の人々に知ってもらったそうです。「こうした人々の協力や努力によって、きれいな尾瀬がある」ということを、学びました。

一種類の鐘だけかと思ったら、「ひもを振って鳴らす鐘」と「棒でたたいて鳴らす鐘」の二種類があることを学びました。棒でたたく鐘は初めて見たので、なんか貴重な感じがしました。

少し曲がって生えている木がありました。その理由は雪だそうです。雪が木にいっぱい積もって、その重さでだんだん曲がっていくそうです。雪の重さでも、ポキッと折れないなんて、すごいと思いました。

ここで書いた3つのことを、ノートにもっと詳しくまとめたいと思っています。ガイドさんの説明は、とてもわかりやすかったです。すごくきれいな尾瀬を守っているのは、人々の協力や努力のおかげなんだな、と改めて思いました。とっても楽しかったです。

<T.Hくん 7月6日の日記>

今日は、尾瀬に行きました。ガイドさんと、先生と、班の人と行動しました。最初は山の鼻ビジターセンターに行きました。3.3km歩きました。思ったより長かったです。行く時、いろんな植物や生き物がありました。疲れました。お昼ご飯を食べました。疲れてから食べたご飯は、おいしかったです。次に、尾瀬ヶ原に行きました。ミズバショウやニッコウキスゲなどいろいろな花が咲いていました。特に、ワタスゲがいっぱいありました。サワランがありました。ガイドさんがダジャレで、「サワランをサワラン」と教えてくれました。池塘がたくさんありました。浮島もありました。トンボもイモリもいました。木道のベンチで寝っ転がりました。気持ちよかったです。そのあと戻りました。鹿の柵も見ました。その中にいろんな花が咲いていました。きれいでした。トイレにも50円入れました。また、鳩待峠に戻りました。戻る時に、かなり疲れました。足が痛くなりました。戻ってお別れ会をしました。1人ずつ、ガイドさんにお礼の言葉を言いました。尾瀬は、とても楽しかったです。いろいろ学べたし、おもしろかったので、最高の思い出になりました。またいつか、行きたいです。

<I.Hくん 7月6日の日記>

今日は、尾瀬ネイチャーラーニングで、尾瀬に行きました。バスの中で、おしゃべりなどをしました。尾瀬ってこういうふうな所なんだって、思いました。トンボやミズバショウなどが、いっぱいあり、すごかったです。けっこう疲れたけど、おもしろく、楽しかったので、行って良かったというふうに思いました。

事前学習が充実していたので、子どもたちは、ガイドさんが話してくれることが、とても興味深く楽しかったようです。自分たちが調べたことのさらに数倍深い知識で、もっと興味深い内容の話を、次から次へと話してくれたからです。

やはり、このような行事をやる際には、事前学習を充実させておくことが大切なんだなと、今更ながら実感した尾瀬ネイチャーラーニングでした。 (つづく)